

【しなのきプランⅡ】
 自ら学び 共に育つ
 ～ウェルビーイングの実現～
 子どもたちの【自学自習の資質能力】の
 伸張を支援

【校長の願い】

- ・生徒の主体性を養う、個別最適な学びの指導・支援
- ・他者を受容し、他者と支え合い・ともに挑戦する活気のある学校
- ・生徒の力を育み、地域を支え地域に信頼される小中連携の学校教育

【山村留学制度】

他地域からの転入生と地元生とが、共に学び伸びていく学習環境の構築

【学校目標】
 豊かに 深く 耕そう

学校目標のとらえ

(目指す生徒像) Plan

- 自ら学ぶ人
- 人を思いやる人
- 自ら律し自ら行動する人
- 大岡を愛する人

【学校・保護者・地域が目指す学校】
「自分の生き方を考える学校」

- 「ともに高める」学校
 学力向上（知識・技能・表現力）
- 「ともに深める」学校
 人間力の向上（優しさ・遅しさ）
- 「ともに広げる」学校
 自己肯定感の向上（自分が好き・自分に自信をもつ）

【生徒の実態】

- 知的好奇心が高く、素直に学習に取り組むことができる。
- 仲間と協力し、ともに支え合おうとする意識が高い。
- 自分の考えに固執するあまり、視野がやや広がりにくい面がある。

教育推進3つの柱 「ともに高める」ともに深める」ともに広げる」 Do Action

一人一人の学習意欲を高める指導・支援（高める）

- 「わかる」「できる」が実感できる授業
 - ・課題の明確化→個別・ペア・グループ追究→振り返り
 - ・振り返り等における言語活動の充実（書く力の育成）
- ICTを活用（個別最適な学び・協働的な学び）
 - ・一人一台端末の日常的な使用（授業、生徒会、家庭学習）
 - ・オンライン等を用いた他校との交流・連携・協働
 - ・タブレットを活用した情報活用力・発信力、表現力の育成
- NRT、全国学調を活用したPDCAサイクルの推進
 - ・学力の実態を把握した、日常的な授業改善の推進
 - ・校内研修会の開催、外部の研修会や授業研究会への参加

自他を大切に作る心の育成・人間力の向上（深める）

- 生徒の心に寄り添う環境づくり
 - ・「全員担任制」による多面的・多角的な指導支援・生徒理解
 - ・「全員道徳」による多様な人や価値観に触れる機会の確保
 - ・人権教育月間、研修会や講演会による人権教育の充実
- 進路学習・キャリア教育の充実
 - ・外部人材を活用した、職業調べ、職業体験、進路学習
 - ・異学年交流や集会等における言語活動（表現）の重視
- 生徒会による自治的活動や勤労・奉仕活動の推進
 - ・生徒が必要感を持ち、主体的に取り組む生徒会活動
 - ・生徒が地域に発信・貢献、地域と協働する機会の確保

地域に学ぶ総合的な学習、探究学習の充実（広げる）

- 環境、人材等を活用した総合的な学習の充実
 - ・習得、協働、発信、貢献等、発達段階に応じた目的を明確にした学習の展開。小中9年間を見通した目指す生徒像とつづける力の分析、カリキュラム研究の継続
 - ・公民館活動や地域人材を活用した伝統的活動の継承
- 大岡コミュニティスクール「縁賀和」の充実
 - ・地域、保護者、学校が連携し共に高め合う教育活動の創造
 - ・魅力ある地域・学校のあり方の検討、話し合いの継続
- 地域・保護者・外部への学びの情報発信
 - ・学校日より、ホームページによる活動案内及び様子紹介
 - ・住民自治協議会やサポーターズと連携した情報発信
- 主体性や創造性を育む総合的な部活動の設置
 - ・生徒の自主的な計画による体育的活動、文化的活動、探究的活動等の時間と機会の保障

小中連携・地域連携のさらなる推進（ともに）

- 新たな取組への挑戦
 - ・R8部活動地域移行に向けた、学校・保護者・関係機関（住自協、大岡ひじり学園、公民館等）による協議
- 小中連携による授業づくり、学習環境の充実
 - ・合同自学、授業連携、合同集会等の推進。目指す児童生徒像の共有に向けた授業相互参観、合同会議の実施
 - ・大岡大運動会、ひじり祭、ふるさとコンサートの共催

全校研究テーマ（案）

「生徒一人ひとりの学習意欲が高まる授業を目指して～課題設定・集団づくり・対話活動のあり方～」

【授業改善を進めるための重点的な取り組み】

- ・ 誰にもわかりやすく、安心して主体的に参加できる教育環境や学習のルール（授業のユニバーサルデザイン化）の確立
- ・ ペアや小グループによる話し合い活動を位置づけ、学習に対する生徒の主体性・自主性を育む。

【教職員の指導力向上に向けた校内外研修】

- ・ 重点研究会や職員会においてミニ研修会を位置づけ、教材研究や指導法研究、児童理解を深めることを日常化する。

○安全で安心できる学校づくりを目指して

- ・ 生徒指名の職員による教育相談、スクールカウンセラーによる定期的な全生徒面談、アンケートを定期的実施し、問題の早期発見・早期対応に努める。
- ・ 人権・いじめ問題・ハラスメント等の相談窓口の設置と周知。非違行為防止研修の計画的な実施。保護者・地域との積極的な意見交換の実施。

学校評価 Check

- ・ 学校評議員会・虹の橋委員会からの意見（各年2回）
- ・ 地域、保護者からの意見、アンケートの実施
- ・ 児童による授業評価の実施

（教育課程編成プロジェクトチームの設置）